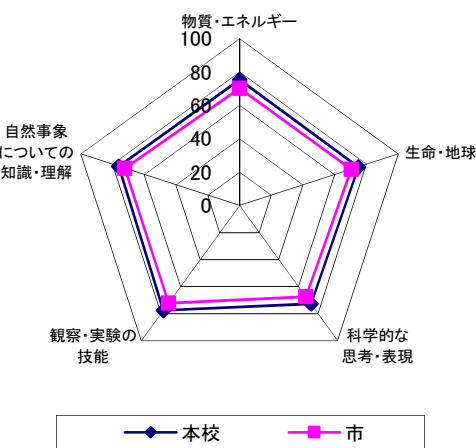


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	75.4	70.3	69.0
	生命・地球	74.9	70.4	70.2
観点別	科学的な思考・表現	72.8	67.5	66.4
	観察・実験の技能	77.6	72.3	68.9
	自然事象についての知識・理解	76.1	72.3	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は市の平均より高い。 ○水よう液の性質に関する設問では、どの設問も市の平均を8ポイント以上上回っており、学習内容の定着が見られる。 ●水に溶けた物の取り出し方についての設問では、市の平均正答率を8.2ポイント下回っているため、やや課題が見られる。	・実験の際には、どのようなことを調べるのか、そのためにはどのような実験をすればよいのかをよく意識できるようにする。 また、実験の際には予想をきちんと立てるようにするとともに、その実験結果をまとめたり、全体で結果の確認をしたりして、実験結果を明確にできるようにする。
生命・地球	平均正答率は市の平均を4.5ポイント上回っており、基本的な学習内容の定着が見られる。 ○植物の発芽と成長に関する設問では、どの設問も市の平均正答率を上回っており、学習内容の定着が見られる。 ●植物のつくりとはたらきの実験の方法から結果について考える問題では、全国平均や市の平均正答率を2.5ポイント以上下回っているため、やや課題が見られる。	・観察や実験の場面では、児童一人一人が対象や目的に応じて器具を操作することができるように指示を工夫したり、操作する時間を十分に確保したりできるよう工夫していく。また、必要に応じて様々な単元で繰り返し扱うなど、復習に取り組んでいきたい。 ・実験の結果については、予想した内容を発表させたり、ペアやグループで考えを説明させたりし、結果の見通しをもたせ学習していけるように工夫する。